



【平和学習（原爆資料館見学、被爆体験講話、平和カルタ作り）】

6月21日に5・6年生は原爆資料館を見学し、29日の土曜参観では、全学年「被爆体験講話」を聞き、戦争の恐ろしさや平和の尊さについて考えました。

これらの学習を通して、子どもたちは「もし自分の家族が同じようなことになったら耐えられない。」「家族と過ごせる日を当たり前だと思わず、大切にしていきたい。」「ご飯を残さず、感謝して食べたい。」などの感想をもちました。自分のことに置き換えて、戦争の犠牲者の痛みを想像し、自分にできることを考える姿に成長を感じました。

また、平和学習で学んだことを生かして、「平和カルタ作り」に取り組みました。カルタには、「平和のために自分ができること」「こんな世界になったらいいな」など、平和への思いを絵と文で表しました。



【3・4年総合「伝えよう！外海の魅力」】

総合的な学習の時間に育てているもち米の稲が順調に育ってきました。芽を出し、5～10cmに育った苗から元気なものを選び、田植えをしました。田植えと言っても、本校には田んぼはありませんので、子どもたちが挑戦しているのは、バケツの中に土を入れ、水をためて作る「バケツ稲」です。どろどろになった土をかき混ぜながら、小さな田んぼの感触を楽しんでいました。

子どもたちは、これから夏休みを迎えるにあたって、どんな準備、対策が必要になるかを考えているところです。



【4・5年国語科「詩を味わおう」】

長崎大学教育学部附属小学校の先生をお招きして、複式での国語科「詩を味わおう」の出前授業を受けました。

授業では、詩を読んで、想像した様子を絵で表現し、その絵の根拠となる言葉について話し合いました。

担任がもう一方の学年に指導している間も、ガイド役の子を中心に、学びを止めることなく、自分たちで学び合うことができました。

複式での授業にも慣れ、最近では、自分たちで説明し合ったり、問題を出し合ったりするなど、自分たちでの学びの進め方を工夫することができるようになってきました。